

発行：余市協会病院
 発行日：平成 27 年 8 月 1 日
 発行人：吉田 秀明
 編集人：広報委員会
 お問い合わせ：0135-23-3126



今年も実りました！
 玄関前菜園



7 月 4 日に第 47 回北海ソーラン祭りが開催され、余市協会病院は総勢 70 名での参加となりました！新入職員も先輩に負けず元気いっぱい踊ってくれました！益々パワーアップしていく余市協会病院に今後ご期待下さい！！

「北海ソーラン祭り」

研修医リレーコラム74「アナフィラキシーについて」

こんにちは。手稲溪仁会病院研修医 2 年目の菊池真弥と申します。1ヶ月間、大変お世話になりました。お陰さまで大変充実した研修生活を送ることができました。ありがとうございました。さくらんぼのおいしい季節にこられて幸せでした。しかし、さくらんぼ狩りに潜む危険といえば、なんといってもハチです。7 月は、ハチにさされたアナフィラキシーの患者さんがたくさん来院されました。

というわけで、今回のテーマは、アナフィラキシーです。

アナフィラキシーとは

アレルゲンとの接触後、通常は 5～30 分で急激におこる重度のアレルギー反応のことです。皮疹・眼や口の周りのむくみなどの皮膚粘膜症状(80～90%)、呼吸苦・ゼイゼイするなどの呼吸器症状(40～60%)、嘔吐・下痢などの消化器症状(30%)、めまい・血圧低下などの循環器症状(30%)が急速に進み、場合によっては死に至ります。

アナフィラキシーの原因

食べ物がもっとも多く、続いて蜂などの昆虫、薬物となっています。

食べ物：鶏卵、牛乳、小麦、そば、ピーナッツなど、特定の食べ物を食べたときに起こります。子どもから大人まで幅広い世代で見られますが、特に乳幼児に多くみられます。また、食べただけでは症状が出ないのに、食べて 4 時間以内に運動が組み合わさると症状が誘発される特殊なタイプに、「食物依存性運動誘発アナフィラキシー」もあります。

蜂 毒：スズメバチ、アシナガバチなどの蜂の毒液によるアレルギー反応。日本では、蜂刺されによるアナフィラキシーショックで年間 20-30 人ほどが亡くなっています。

薬 物：原因となる薬物の多くは、ペニシリンなどの抗生物質、アスピリンなどの解熱鎮痛剤、抗てんかん薬の頻度が多いです。また、検査に使われる造影剤、その他に、ワクチンや麻酔薬、輸血なども原因となりやすい傾向があります。

その他：まれですが、クラゲなどの海洋生物による刺傷で起こる場合もあります。

アナフィラキシーをみたら

食物の場合は、口の中に残っていれば、すぐに出して水でゆすぎます。原因となる食物が体に付着していたり、手でさわったりした場合は、水で洗い流してください。

蜂に刺されて毒針が残っている場合には、あまり無理をして取り除いたり、毒を出すためにつまんだりすると逆に、毒そのものや毒針、および細菌を体内に押し込んでしまう危険性があります。このような場合、直ちに最寄りの医療機関を受診し、医師による適切な処置・治療を受けるようにしてください。

もしアドレナリン自己注射薬を携帯している場合は、太もも前外側の筋肉に注射します。基本的には自分で注射しますが、患者さん自身が打てない場合は、救急救命士や学校・幼稚園、保育所の教職員が人命救助のために注射することも可能です。応急処置として使った後には一刻も早く病院を受診しましょう。あお向けで寝かせ、足を高くして楽な姿勢にします。

その後、注意すること

今後は、生涯にわたって再発する危険性があり、かつ 2 回目の場合はより重症になりやすいといわれています。アレルギーとなる原因を避けることがもっとも重要です。ただし、乳幼児期の鶏卵、牛乳、小麦、大豆アレルギーは、6 歳までに 80～90%が耐性を獲得して、症状を起こさなくなります。

以上、アナフィラキシーについてでした。 研修医 菊池 真弥



救急件数 (7月) 外来受診287件 うち入院83件 救急車来院87件 うち入院50件